

週 報

1988年1月17日 降誕節第4主日

巻 8 42号

1987年度教会主題

「世の光、イエスに従う」

わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみの
うちを歩くことがなく、命の光をもつてであろう。

ヨハネによる福音書8章12節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目 8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目 6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

—牧師室から—

渡辺英俊牧師が贛子教会の十数名の方と中村橋伝道所を開設された。私は渡辺先生の言葉や行動から多くのことを教えられ、深く尊敬している。今日、キリスト教信仰とは何なのかを厳しく問われている。大きく二つの流れがある。一つは欧米を中心とした、いわば上からの伝統的キリスト教理解である。この神学が今日までの教会を支えてきた。もう一つは、十数年まえから第三世界で激しく起こってきた神学である。この神学は先進諸国から取奪され貧しく、生存権さえ奪われている彼らの状況とイエスの生きた状況の類似性から、イエスの示された人間解放を主張している。いわば、下からの正義と公平を求める政治的・社会的神学である。この二つの神学が、ぶつかり、絡まりながら福音の質が問われている。ある人は、後者の神学的問いかけは十六世紀の宗教改革以上の意味を持っていると言う。

渡辺先生は、第三世界の神学に福音の真理性があると考え、主張されている。フィリピンで一年間解放の神学を学び、体験してこられた。教団の教会のない中村橋に伝道所を開設し、日本の産業構造が生み出したといわれる寿町問題と深く関わっておられる。最近、寿町はフィリピンからの出稼ぎの人が多いそうである。渡辺先生は彼らから慕われている。又、在日韓国、朝鮮人の子供の教育を担おうとする「信愛塾」とも関わっておられる。

渡辺先生は、どこで聖書を読むかによって聖書理解が全く違ってくるというも力説されている。開所式の中で、今の働きが本当の教会であろうと喜々として語られていた。根本的に考え、それを生きようとする渡辺先生に心から敬意を表し、中村橋伝道所が学んだことを教えて頂きたいと思う。私たちの教会は、今後も中村橋伝道所に支援を続けていきたい。